

らっきょうの花畑で一枚



11月4日(日)、見ごろを迎えた福部町のらっきょう畑を散策する催しが行われました。この日は好天に恵まれ、多くの家族連れなどが参加。地元のガイドから、らっきょうが真夏に植え付けられることや、手作業で加工されることなどの解説を受けながら、興味深くらっきょうの花を眺めていました。途中、らっきょうの花摘みスポットに到着すると、参加者は嬉しそうに畑の中へ。鮮やかな紫色の花を見せ合ったり、特有の香り確かめたりしながら、季節限定のおだやかなひとときを楽しんでいました。およそ一時間の散策でしたが、あっという間に過ぎてしまったようで、「もっと見たかった」という声が聞かれるほど、大変好評の催しとなりました。

この日は、毎年恒例の「らっきょうの花マラソン」も同時開催。1,213人の参加者が、おだやかな日差しのもとに咲くらっきょうの花を楽しみながら、ゴールを目指して駆け抜けていきました。



とっとり市報

2012年12月号 第1028号

目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
鳥取市を語る 市政への提言 新井 満さん	P3
特集 広がる環日本海経済圏の交流	P4-7
文化賞表彰、小規模校特別転入希望者募集	P8
シズ @じんけん	P9
シズ 元気です シシボタンの会	P10-11
まちかどアルバム	P12-13
健康・病院	P14-15
ピックアップインフォメーション	P16-19
国府町総合支所移転	P16
祝日のごみ収集(鳥取地域)	P17
市民提案を募集します	P18
年末年始のお休み	P19
	など
情報ひろば	P20-28
福祉(高齢社会課からのお知らせ、除雪応援隊の派遣 など)	P20
お知らせ(平成25年度鳥取市成人式、第3回鳥取市新春健康マラソン など)	P21-
募集(鳥取市認知症フォーラム、第38回鳥取市民音楽祭出演団体 など)	P22-
親子記者・長崎での活動報告、鳥取を愛して	P25
市民伝言板	P28
	など
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
食・読者プレゼントなど	P32

PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1028

鳥取市の人口

男	: 94,142人	[-21]
女	: 101,275人	[+20]
合計	: 195,417人	[- 1]
世帯数	: 77,618	[+73]

平成24年11月1日現在 [] 内は前月比

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)

FAX 0857-20-3040

〒680-8571

(郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)

本庁舎 尚徳町116番地

第二庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.lg.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

(携帯電話対応アドレス)

<http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555

福部 TEL 0857-75-2811

河原 TEL 0858-76-3111

用瀬 TEL 0858-87-2111

佐治 TEL 0858-88-0211

気高 TEL 0857-82-0011

鹿野 TEL 0857-84-2011

青谷 TEL 0857-85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

TEL 0857-20-3132

発行/平成24年12月1日

印刷/株式会社鳥取平版社

大伴家持の曲を全国に発信しよう！

砂像の無常観がいい

市長 今日万葉フェスティバルで、記念講演をありがとうございました。まず、鳥取市の印象について伺います。

新井 観光という言葉は、光を観ると書きます。光イコール宝物という意味です。宝物は何かというとその土地にしかないものが宝物なんです。その点で、鳥取といえば砂丘です。何十年かぶりに鳥取に来ましたら、砂の美術館ができていました。宝物をちゃんと認識し、それを見せようとしておられる。はつきり申し上げて驚いた。感心した、感動した。

市長 鳥取砂丘は天然の造形物ですが、人が思いを込めて、砂を使って作る芸術を砂丘と対比して作ってはどうか、というので始めたんです。

新井 彫刻は普通木とか石とか、形の崩れないものを削るイメージなので、どうやって作るのかな、と観ておりますと、崩れていない。でもいつかは崩れる。その無常観がいいですね。

市長 儂い芸術とPRしてます。

新井 諸行無常の響きあり。日本人の根本的な人生観だと思えますね。般若心経で色即是空とは、万物は変化した結果、滅びるということですが、砂の美術は、最後は滅びるわけですよ、色即是空を、そのまま形にしたような美術館ですよ。

市長 哲学的な論評をいただき、改めて砂の芸術、儂い砂像の存在が問いかけられているのをアピールしていきたいという気持ちになりました。

新井 いつかは滅びてしまう、でも今はまだ生きている、この命を大切にしようというメッセージが聞こえてきます。

大伴家持の歌にメロディーを

市長 万葉集の歌に曲をつけられた先生の「万葉恋歌 ああ、君待つと」は非常にすばらしい曲です。万葉の時代が現代に通ずるものもあると思っただんですが、なにかご提案はありますか。

新井 万葉集は、千年後の今も生きています。それは普遍性があったということです。普遍性の最たるものは、人を愛すること。恋歌は、千年前も現代も全然変わらないというのが最初の印象でした。また、大伴家持といえればあまりにも有名な「あたらしき年の初めの初春の...」

市長 ・今日降る雪のいや重げ吉事

新井 おめでたいことが三つも重なるというこんなにおめでたい歌はちょっとありません。この和歌にメロディーをつけて、お祝いの席で必ず歌われるような祝い歌として発表してはいかがでしょうか。これは大伴家持の代表歌です。鳥取市にとっては全国にPRできる絶好のチャンスになるかもしれませんね。

市長 とてもいい提案だと思います。是非、歌にして広めたいものです。

※対談内容を抜粋・要約して掲載しています。

□対談者 作家、「千の風になつて」の

訳詩・作曲者 新井 満さん

□場所 砂丘の家レイガーデン

□対談日 平成24年10月21日(日)

